

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

津山市城下地区にぎわい再生整備計画

平 30 年 3 月 23 日

岡 山 県 津 山 市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成30年3月23日

計画の名称	津山市城下地区にぎわい再生整備計画										重点配分対象の該当			○										
計画の期間	平成29年度～平成30年度（2年間）																							
計画の目標																								
城下町津山の魅力を活かした広域交流拠点の形成 目標1： 県北の中心都市としての都市機能の集積 目標2： 津山城跡を中心とした観光・文化機能と都市機能が融和した都市空間の形成																								
計画の成果目標（定量的指標）																								
①県北地域の広域的な交流拠点を整備し、既存の都市機能と連携したエリアの活力と魅力を創造することにより、中心市街地の交流人口の増加を図る。 ②津山城跡の石垣への眺望を確保し、城下地区の観光・文化機能の強化を図ることにより、城下地区にある歴史文化関連施設の利用者の増加を図る。																								
定量的指標の定義及び算定式										アウトカム指標の現況値及び目標値				備考										
中心市街地において経年的にデータを計測している地点での平日・休日の通行量（4地点）の（加重）平均値を把握する。										当初現況値 H27	中間目標値 H29	最終目標値 H30												
										5,511人/日	5,670人/日	5,840人/日												
										中心市街地において経年的データを計測している歴史文化関連施設（2施設）の利用者数を把握する。										129,261人	132,500人	135,700人		
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		456 百万円	A	456 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 (A+C) / (A+B+C+D)	0.0%										
交付対象事業																								
A1 基幹事業																								
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考									
A1-1	暮にぎ	一般	津山市	間接	新津山国際ホテル(株)	山下地区暮らし・にぎわい再生事業	津山国際ホテルA=0.36	津山市	H29	H30	H31	H32	H33	456	別添1									
合計													456											
備考																								
B 関連社会資本整備事業																								
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考									
									H29	H30	H31	H32	H33											
合計													0											
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考									
C 効果促進事業																								
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考									
									H29	H30	H31	H32	H33											
合計													0											
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考									
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																								
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考									
									H29	H30	H31	H32	H33	0										
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考									

社会資本総合整備計画

平成30年3月23日

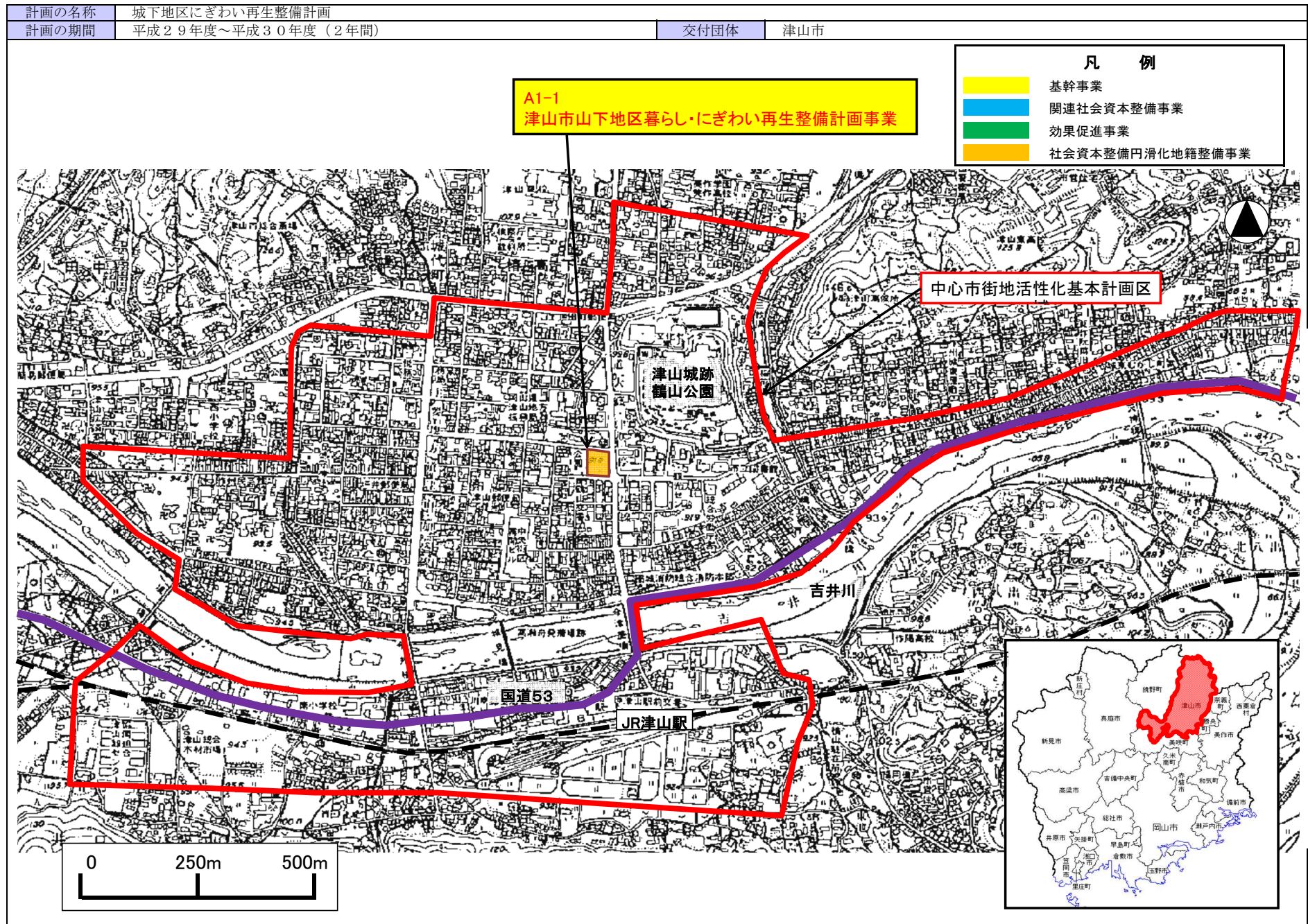
計画の名称	津山市城下地区にぎわい再生整備計画			重点計画の該当	○
計画の期間	平成29年度～平成30年度	交付団体	津山市		
計画の目標	城下町津山の魅力を活かした広域交流拠点の形成 目標 1 : 県北の中心都市としての都市機能の集積 目標 2 : 津山城跡を中心とした観光・文化機能と都市機能が融和した都市空間の形成				

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	84	120			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	84	120			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	84	100			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	20			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	16.6%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由		建築主体工事費の削減によるもの			

社会資本総合整備計画（市街地整備） 参考図面



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：津山市城下地区にぎわい再生整備計画 事業主体名：津山市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
① 中心市街地活性化基本計画との適合等	
1) 計画の目標や指標が中心市街地活性化基本計画と適合している。	○
2) 上位計画(津山市総合計画)等と整合性が確保されている。	○
② 地域の課題への対応	
1) 中心市街地の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③ 目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 防災・安全の観点からも妥当な目標と指標・数値目標となっている。	○
④ 事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 民間事業との相乗効果や地域全体への波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤ 地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥ 円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○